

令和6年度 剣道部の指導方針等について

令和6年4月30日

1 指導体制

顧問教諭氏名	
主顧問	笹井 綾
副顧問	吉田 真李也

部活動指導員氏名	資格等や経験	頻度
梶井 好文	教士八段	週2日

2 年間目標

- (1) 稽古に加えて、日々の学習や家庭学習を大切にする文武両道の確立。
- (2) 高体連主催の大会において、都大会出場を目指す。
- (3) 勝利至上ではなく、稽古・試合に取り組む姿勢を大切にし、自他の生命を尊重する姿勢を育む。

3 指導方針

- (1) 稽古時間は、2時間（準備体操・休憩含む）とし、短時間で集中して取り組むとともに、「考える・工夫する」ことを徹底する。
- (2) オン・オフをしっかりと区別し、メリハリをつけて活動する。
- (3) 礼儀・言葉遣い・所作を普段の生活からしっかり考え、他人に不快感を与えることのないようにする。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

理論的な指導を中心にし、個々の稽古内容の必要性を理解させた上で展開する。常に生徒・保護者からの声を大切にし、年に一度保護者会を開き情報交換に努める。部活動指導員との意思の疎通をはかり、体罰・暴言等の無い指導を徹底する。

(2) 生徒間の暴力禁止

いかなる場合でも「暴力による問題解決は存在しない」ことを日頃からの指導で徹底する。

(3) 事故防止・安全配慮

生徒の状況（体力・技術・心身のバランス）を把握して計画・指導実践する。
無理はさせず、必要に応じて自発的に休憩等をするように伝える。

5 活動の手順

- ・ 活動の準備（道具、用具）。
- ・ ウォーミングアップ（準備運動・ストレッチ）
- ・ 基礎稽古・掛かり稽古・地稽古
- ・ クーリングダウン（整理運動・ストレッチ）
- ・ モップをかけるなど、環境整備する。顧問、部活動指導員は点検する。